

【安全大会盛大に開催される】

平成 21 年度安全大会が 4 月 24 日（金）田村市大越公民館に於いて、41 名の出席者により盛大に開催されました。（報道関係者除く）

始めに社長より、サブプライムローン問題に端を発し、世界的な金融危機を伴う景気後退によりあらゆる産業の生産調整による非正規雇用問題など企業におけるコンプライアンスの遵守が社会問題となりました。



県内の公共投資は毎年大幅に削減され平成 9 年度のピーク時から比べると 3 分の 1 まで減少し、一般競争等による価格優先のため、県民生活の安全安心や地域雇用、経済社会の基盤である公共事業を支えてきた建設業は事業の先行きの見通しが立たない環境にさらされ、倒産や廃業が続出しかねない強い危機感を持っております。このような中で死亡災害が発生すれば、行政処分・社会の制裁を受け企業経営は重大な事態におかれ存亡の危機に及んで参りますので、労働災害の防止は人命尊重の観点からもとより、災害ゼロを目指し、誰もが健康で安全で安心して働くことが出来る明るい職場を形成して頂きたいと挨拶がありました。

勤続表彰者
安全標語表彰者

大山守様（30 年） 樽井鉄男様（20 年）

最優秀賞に 遠藤長男様の「手を抜くな なれた作業に おとし穴」
優秀賞に 村上易則様の「見逃してませんか？ ヒヤリと言う赤信号」
佳作に 武田雅章様の「みんなで摘み取るう危険の小さな芽大きな過失」
国分千代子様の「慣れた仕事に 一瞬の油断が 事故のもと！」
柏原利美様の「朝からはじまる 元気な挨拶 明るい職場」

無事故無違反表彰者 石井正春様（30 年） 柏原利美様、樽井鉄男様（10 年）

現場体験談では、遠藤第一課長が現場で起きたヒヤリハット体験談を話ししてくれました。

河川災害の床堀作業中地山の亀裂により土砂が崩壊しそうになった。

発破作業中防爆シートの際間より飛び石があった。

現場通勤途中年寄りの飛び出しがあった。

紅葉マークの自動車がウインカーを上げずに急に右折した。

講演では、ラジオ福島アナウサー 鏡田辰也編成局放送部長が講演をしてくださいました。本日は私にとってとても大事な会議ありましたが、三和工業株式会社の要望により、人との話をするのが好きなものですから安全大会に出席することにしました。大学 4 年生の時就職活動を行いました。自分にあつた職がなかったために、授業単位を取得せずに 1 年間再度勉強しながら、就職活動を行っていましたが、皆様の地元の放送局である、r f c ラジオ福島がアナウンスを募集しておりましたので、直ぐに応募して採用して頂きました。私は皆さんもお聞きの通り音質が高いために、上司からは報道アナウンスには向いていないといつも言われておりますので、いつも元気で、明るく、笑いのある放送を目掛けております。普段は読書が趣味で毎日本を読んでおりますし、朝起きましたら、庭の手入れを行い、モーニングコーヒーを飲んで出社するのが日常で、朝食は取らずに、夜食のみの 1 食しか食事はとりませんので、少しふくよかな体系になってしまいました。冒頭にも述べましたように、人とコミュニケーションを取りながら話をするのが好きなものですから、電話で話すのは好まないです。など話しをして頂き、その後にアノンシスト賞ラジオフリートーク部門最優秀賞を受賞したときの DVD をスライドで紹介して頂きました。



今年度の安全標語募集に当たりまして、43 名の方々から 73 作品と多数の応募頂き本当にありがとうございました。